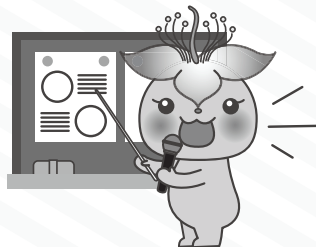


西原町学校施設等長寿命化計画

西原町学校施設等長寿命化計画は、「西原町公共施設等総合管理計画」の個別計画であり、学校施設等の計画的な修繕、改築スケジュールを策定することにより、将来負担コストの軽減・平準化を図りながら、児童生徒が安全・安心に学校施設等を利用できるような教育環境の整備を図ることを目的として策定するものです。

西原町学校施設等長寿命化計画における学校施設等の整備は7つの基本的な方針に基づいて推進されていきます。

- ① 学校施設等の保有総量の適正化
- ② 安全・安心で利用しやすい学校施設等の整備
- ③ 予防保全による施設の長寿命化の推進
- ④ 地域拠点としての学校施設等の整備
- ⑤ 快適な教育環境の整備
- ⑥ 認定こども園の創設
- ⑦ 学校給食共同調理場の整備



※長寿命化とは

長寿命化とは、施設をなるべく長く使い続けるため、必要な整備を適切に行うことです。本計画では「長寿命化」「大規模改造」「予防改修」「定期更新」「応急修繕」(以下、「改修等」という。)といった長寿命化手法により、建物の目標使用期間に応じて適切に改修周期を構築し、持続可能な財政運営を進めながら学校施設等の長寿命化を図っていきます。

また、本町の厳しい財政状況を踏まえ、中長期的な維持管理等に係るトータルコストの縮減や予算の平準化を実現するため、長寿命化手法については費用対効果など経済的な比較検討を行い、施設の更新を含めて優位となる手法を選択します。

議会ではこれまで公共施設の一つであるテニスコートの修繕や学校施設である小中学校体育館屋根長寿命化工事、中央公民館の民間活力を活用に関する調査などの予算について審議し、可決してきた経緯があります。6月定例会においては西原東小学校の建て替え計画に先んじて、西原東小学校コンクリート剥離落下防止ネット取付工事予算等について審議し可決してきました。また、財源確保のため企業版ふるさと納税の導入やPPP/PFIによる民間活力活用、ネーミングライツ、各種補助金などについてさまざまな提案も行っており、今後も様々な提案を通して町民の皆様が安心、安全なサービスを行うためにも議会としても注視していきたいと思っております。



西原町学校給食共同調理場



西原東小学校



西原中学校



西原中学校プール

どうなる!? 老朽化が進む公共施設!!

老朽化...



西原町公共施設等総合管理計画

日本ではこれまで、高度経済成長期・急激な人口増加を背景に、多くの公共施設整備を行ってきました。そして現在、これまで整備してきた公共施設の老朽化が大きな課題となっています。加えて、少子高齢化による収収等収入減や社会保障費増等により、今後の財政状況が厳しいものと予測されています。

そのため、これまでの「新しく造ること」から「賢く使うこと」へ重点を置いた対策が必要不可欠です。

本町においても行政需要の拡大により公共施設を整備してきましたが、これら公共施設の多くに老朽化の問題が表面化してきています。安全・安心なサービスを提供するための維持補修に加え、大規模改修や建替えが必要となることが見込まれるとともに、その時期が集中することが予想されます。さらに、社会構造や住民ニーズの変化により、公共サービスのあり方を改めて見直す必要性にも迫られています。

そのことから長期的な視点から計画的・効率的な公共施設等の整備や維持管理、施設の長寿命化や統廃合を検討することにより将来負担の軽減を図り、限られた財源の中で充実した行政サービスを提供することを目的として、「西原町公共施設等総合管理計画」を策定しています。

全ての公共施設の建て替え等に関する費用には多額の財源が必要になってきます。本町の財政状況では大変厳しい状況の中でいかに財源を確保していくかがこれまでも課題として取り上げられてきました。

「西原町公共施設等総合管理計画」では西原町中央公民館や町民体育館を含め約28施設が対象となっています。

また、学校施設においては西原町学校施設等長寿命化計画が策定され、計画に基づいて整備がすすめられる予定になっています。



西原町中央公民館



西原町民体育館